

公告中の案件に関する質問及び回答

質問日	令和7年6月6日
発注機関	奈良森林管理事務所
事業名	赤谷b治山工事
公告日	令和7年5月28日
開札日時	令和7年7月4日
質問の内容	1. 参考資料の20号代価及び材料明細書において、木杭 L=1.0cmと表示されているのは、L=1.0mの誤りと思われます。 2. 仮設計画図(作業道)による経路では、重機の進入が極めて困難かつ危険で有ると思われます。また、降雨時等の避難経路、施工に必要な資機材の設置場所等の確保も困難です。工事実行時での変更は可能でしょうか。(例 河川内から大型土のうを積み上げ進入路を作成する等) 3. コンクリートポンプ圧送料金(所決単価)は、ブーム打設を想定していると思われますが、ブームでの作業範囲までポンプ車及びアジテータ車の進入は困難です。配管による打設への変更は可能でしょうか。 4. 谷止工の掘削土砂の処理は、どのような想定をされているのでしょうか。上流側に処理した場合は降雨時に施工箇所への流入が懸念されます。 5. 構造物取壊し工において、旧堤体に付着している丸太の処分はどのように考えておられるのでしょうか。 6. 法切工により発生する土砂(1,084m³)は谷止工の埋戻土として考えておられるのでしょうか。 また、現地の状況を見るかぎり設計図書のような切取りは、困難で有ると思われます。
質問の回答	1. 木杭の規格については、L=1.0cmが誤っており、L=1.0mが正しい記載となります。ダウンロードシステムの参考資料を修正していますので、修正後のファイルをご確認ください。 2. 現場状況により、想定している進入路の作設、資機材の設置場所の確保等が困難と認められる場合は、「国有林野事業工事請負約款」に基づき、監督職員と協議をお願いします。 3. コンクリートポンプ車によるブーム打設を想定していますが、現場状況により、ブーム打設が困難と認められる場合は、「国有林野事業工事請負約款」に基づき、監督職員と協議をお願いします。 4. 掘削土砂は、安全な箇所に仮置きし、谷止工完成後、背面の埋戻し土砂として処理する想定としていますが、現場状況により、仮置き場への運搬や流出防止措置等の必要が認められる場合は、「国有林野事業工事請負約款」に基づき、監督職員と協議をお願いします。 5. 型枠丸太材については旧堤体の取壊しと併せて安全な箇所に残置する想定としていますが、現場状況により、旧堤体からの取り外しや運搬集積等の必要が認められる場合は、「国有林野事業工事請負約款」に基づき、監督職員と協議をお願いします。 6. 法切工により不安定土砂を安定勾配に修正するとともに、法切発生土を谷止工の背面に収容する想定としていますが、現場状況により、想定している法切が困難と認められる場合は、「国有林野事業工事請負約款」に基づき、監督職員と協議をお願いします。

問合せ先：奈良森林管理事務所 総務グループ

電話：050-3160-6150 Eメール：nyusatsu_nara@maff.go.jp